

## 【現代社会学部】令和7年度 FD活動の「年間計画」

### 1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

令和6年度で取り上げた、アクティブ・ラーニングの手法や障害学生支援といったテーマは、現在の高等教育の中心的な課題であり、今年度も継続して実施する方針である。また、令和8年度に控えたカリキュラム改正を見据え、データサイエンスに関する授業や遠隔授業のあり方についても研修を深める機会が必要かと思われる。上記の課題を踏まえ、これから学部教育の発展に資する取り組みを行なっていく。

### 2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

#### (1) テーマ：

新カリキュラム開始に向けて

#### (2) 目的：

令和8年度から実施予定の新カリキュラム開始に向け、既存の科目群の検証を行い、新規科目への反映や、カリキュラムマップ、カリキュラムツリーへの反映を行うことが目的である。

#### (3) 期待する効果：

令和7年2月14日に参加した「3つのポリシー点検・見直しのための学部教育マネジメント研修会」の成果を踏まえ、学部のカリキュラムツリーの点検を行い、その課題の共有と、それを踏まえた新カリキュラムの設計に寄与することができる。

### 3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

#### (1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

##### ①公開授業

新カリキュラムで開始予定である、現代社会学科の「データ社会学認証プログラム（仮称）」および健康スポーツ社会学科の「スポーツデータサイエンスプログラム」の充実に向けて、既存の学部基盤科目の中心をなす「調査系科目」の検討が望まれる。そこで、既存の学部基盤科目のうちから、秋学期開講の「社会統計学」（10月24日3限）、「データ分析」（10月27日3限）を公開授業とする。

##### ②ワークショップ

①の公開授業を参観した後、新カリキュラムで導入予定の「データ社会学認証プログラム（仮称）」「スポーツデータサイエンスプログラム」における、データ関連の教育のあり方についての意見交換を行う。意見交換は公開授業終了後、別に設ける。

#### (2) その他研修会等：

※(1)以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

令和6年度に実施した障害学生支援については、今後もより深めていこうという意見もあった。これらを含め、DE&Iの観点から、より包摂した概念としてのインクルーシブ研修を実施したい。テーマの詳細は今後検討する。

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。